

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、別掲の項目につきまして、2023年10月より検査内容を変更させていただきますのでご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

●変更内容

別掲の一覧表をご参照ください。

●変更期日

2023年10月2日（月）受付日分より

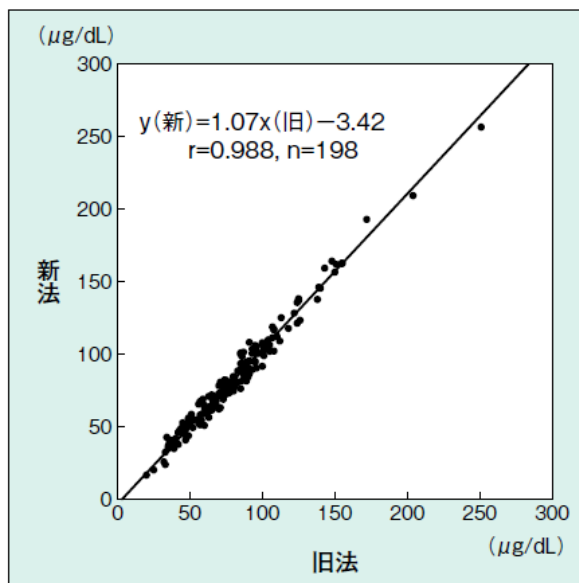
● 検査内容変更項目一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
676	亜鉛(Zn) (血清)	検査方法 検査材料名 備考	比色法 血清 [容器番号:1番] (削除) 測定値に影響が出ますので溶血検体でのご依頼は避けてください。真空採血管のゴム栓には亜鉛が含まれているものがあります。当社指定容器以外を使用の際には十分ご注意ください。	原子吸光法 金属用血清 [容器番号:68番] 必ず指定容器で採取し、採取後は別の容器に移さず、専用検体としてご提出ください(同じ容器を用いる項目は同一検体でも可)。汎用項目も同時にご依頼の際は、金属分析用容器(容器番号68)と汎用容器(容器番号01)の2種類をご提出ください。 指定容器は、ゴム栓の影響はありません。 (新設)	自動分析装置用試薬に変更
-	マンガン(Mn)	検査方法 所要日数	ICP-MS法 5~11日	原子吸光法 6~12日	測定方法の変更
646	バルプロ酸	基準値	有効治療濃度 50~100 $\mu\text{g/mL}$	有効治療濃度 40~125 $\mu\text{g/mL}$	表記の適正化
1296	リドカイン	基準値	有効治療濃度 1.5~5.0 $\mu\text{g/mL}$ 中毒域 5.1 以上	有効治療濃度 1.5~5 $\mu\text{g/mL}$ 中毒域 5 以上	
880	抗核抗体(ANA)	項目コード 報告成分 報告様式 報告上限 所要日数	2681 抗体価(Nuclear) Homogeneous 型 Speckled 型 Centromere 型 Discrete nuclear dots 型 Nucleolar 型 Nuclear envelope 型 Pleomorphic 型 Peripheral 型 Cytoplasmic 型 Mitotic 型 抗体価: (倍) 40未満/40~40960/81920 以上 染色型: (倍) 40未満/40~40960/81920 以上 81920 倍以上 2~5日	880 抗体価 Homogeneous 型 Speckled 型 Centromere 型 Nucleolar 型 Peripheral 型 Granular 型 核膜型 抗体価: (倍) 40未満/40~1280/2560 以上 染色型: -/+ 2560 倍以上 2~4日	(別掲参照)
733	アンチトロンビン活性(AT)	基準値 所要日数 測定施設	81~123% 2~4日 LSIメディエンス	70~130% 1~2日 サカイ生化学研究所	測定場所の変更

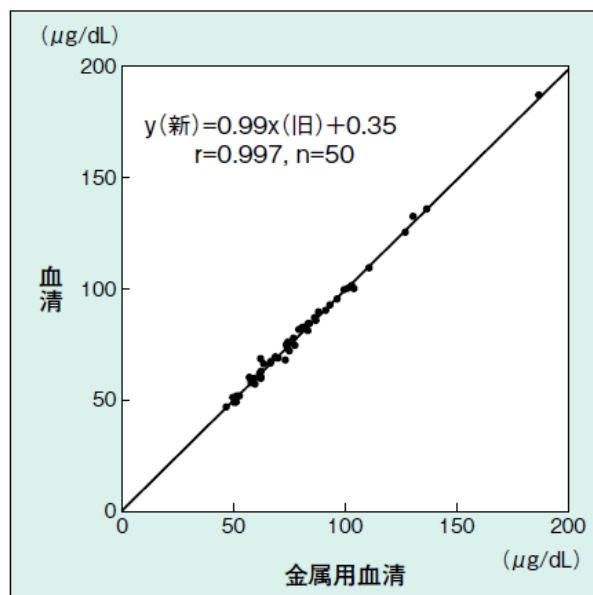
亜鉛 (Zn) 〈血清〉

測定方法を原子吸光法から自動分析装置による比色法に変更します。弊社汎用容器では測定値への影響がないことが確認されており、金属分析用容器への採取は不要となりました。検体量、基準値等の検査要項の変更はございません。

新旧二法の相関



血清と金属用血清との相関



抗核抗体 (ANA)

基質(核材)に HEp-2 細胞を改良した HEp-20-10 細胞を用いた測定試薬に変更します。基質の変更に伴い「抗核抗体(ANA)染色型に関する国際コンセンサス(ICAP)」が提唱する分類法に準じた染色型報告に変更いたします。

変更内容

	新		旧		
報告様式	抗体価 (Nuclear)	Nuclear型の最大希釈倍率を報告	抗体価	各染色型の最大希釈倍率を報告	
	Homogeneous型	Nuclear型* ¹ 各染色型それぞれの希釈倍率を報告	Homogeneous型	-/+	
	Speckled型		Speckled型	-/+	
	Centromere型		Centromere型	-/+	
	Discrete nuclear dots型		Nucleolar型	-/+	
	Nucleolar型		Peripheral型	-/+	
	Nuclear envelope型		Granular型	-/+	
	Pleomorphic型* ²		核膜型	-/+	
	Peripheral型				
	Cytoplasmic型* ³		Cytoplasmic型の最大希釈倍率を報告		
	Mitotic型* ⁴		Mitotic型の最大希釈倍率を報告		

以下の染色型が認められた場合はコメントを追記して染色型を報告します。

*1：Nuclear 型で Dense fine speckled 様型が認められた場合

*2：Pleomorphic 型に含まれる以下の染色型が認められた場合

PCNA 様型、CENP-F 様型

*3：Cytoplasmic 型に含まれる以下の染色型が認められた場合

Fibrillar 様型、Speckled 様型、Reticular/AMA 様型、Polar/Golgi 様型、Rods and rings 様型

*4：Mitotic 型に含まれる以下の染色型が認められた場合

Centrosome 様型、Spindle fibers 様型、NuMA 様型、Intercellular bridge 様型、Mitotic chromosomal 様型

新旧二法の相関

		(倍)																		
新法	40960																			
	20480									2										
	10240									5										
	5120								1	19										
	2560						1	6	11											
	1280					2	2	11	1											
	640				2	7	7	6												
	320			3	1	2	1													
	160		1	10	13	3	1													
	80		12	15	3															
	40		17	25	11	3														
	40未満		68	7																
		40未満	40	80	160	320	640	1280	2560以上	-	-	-	-							
		旧法																	(倍)	